

絵本だより

令和2年10月2日

波島保育園

しばらくお休みしていた絵本の貸し出しが再開でき、準備中から子どもが待ちきれなかったようで「もう借りていいですか」とお母さんに聞かれ、早速絵本を借りて喜んでいる子もいて再開できて嬉しく思います。貸し出しがお休み中も、各クラスでは絵本の読み聞かせを毎日楽しんでいた子ども達です。今回はその中でも各クラスで人気の絵本を紹介します。

ひよこ組 「だるまんシリーズ」

だるまさんの動きがユニークな絵本です。そのおもしろい動きを子ども達も覚えて一緒にやりながら見ている姿がとても可愛いです。



ぱんだ組 「バルバルさん」

床屋のバルバルさんのお店に次々に動物のお客さんがやってきて色々な髪型の注文をしてその注文に応じていく絵本です。バルバルさんと動物の言葉のやりとりがおもしろく、子ども達もその場面になると保育士と一緒に言いながら見えています。



りす組 「かおかおどんなかお」

かおの色々な表情を切り絵で表現した「表情の絵本」です。子ども達も顔の表情を真似ては「せんせい見て！」と言うように保育士に得意げに見せては楽しんでいます。



きりん組 「ぼくのトイレ」

毎日同じ形のトイレを使うのに飽きた男の子が色々な形のトイレを想像していると、とっておきのトイレをゴリラに盗まれてしまいます。たくさんのトイレのどこかに隠れているゴリラを捜す場面になると早く見つけたくて子ども達は夢中で見えています。



うさぎ組 「わにわにシリーズ」

見た目はちょっと不気味ながら茶目っ気を感じさせるワニ。動きに合わせた言葉がおもしろく、みんなその言葉を言いながら見入っています。



ぞう組 「へろへろおじさん」

とことん運が悪いおじさんのへろへろな1日のお話です。主人公のおじさんが階段を転げ落ちたり、空からマットが降ってきたりと、そのあまりにも不運な姿に子ども達は毎回大笑いをしながら見えています。



<忙しくてなかなか絵本を読んで

あげられない・・・>

毎日が慌ただしいお母さんや父さんにとって、そんな日もあるかと思います。1冊の絵本は5~10分もあれば読み終わられる物がほとんどです。子どもに「絵本よんで！」と言われた時にそう考えるとなんだかできそうな気がしませんか？

「面倒くさいな・・・」そんな風に思っていた10分は子どもにとってはかけがえのない時間です。そしてその時間は親子の記憶としていつまでも残る事と思います。「絵本よんで」とせがまれる時

期も今しかないので親子で楽しんで見て下さいね。



★ 私のおすすめ絵本 ★

「とんとんとめてくださいな」

山で迷子になった動物たちが、一軒の家に集まることから始まるお話です。ページが進むごとにドキドキする展開と、最後にはほっこりする内容に何度も読んでと頼んだ思い出があります。

これからの季節にピッタリな心温まる物語です。

保育士 あさみ さん